

今回紹介するサークル

(上段右から)
 ●さき織りサークル 咲き織り
 旭山公園通地区センター
 月曜日・午前
 ※さき織りとは？
 細長く裂いた布や糸などを自由に織り込んでいく織物のこと。

●ペン習字 こぶし会
 中央区民センター
 金曜日・午前

●江戸舞踊 かつぼれサークル
 中央区民センター
 土曜日・午前
 ※かつぼれとは？
 200年ほど前の江戸時代・文化文政のころ、大阪の住吉神社に奉納された「御田植神事」に由来する踊りが全国に広まったといわれている。踊りの動きの激しさから「活惚れ」と当て字されることもある。

(下段右から)
 ●アカンサス木彫サークル
 中央区民センター
 水曜日・午前/午後
 ※アカンサスの由来は？
 家具などによく使われる葉の模様のデザインの元になっている植物の名前から。

●アイデア料理サークル
 ライラック
 旭山公園通地区センター
 金曜日・午前

さき織りサークル 咲き織り

このサークルは、昨年、旭山公園通地区センターで開催された「さき織り講座」の受講者が、講座終了後に始めたものです。



細長く裂いた布を横糸に使って実演する講師

を仕上げるこ
とができるの
で、初心者
の私たちでも
十分楽しめ
ます」と代表
の坂下さん。



色々な素材を織り込むことで複雑な模様が出来る

「さき織りは、幅や素材の違うものを横糸として織り込んでいくだけで、小物なら短時間で、誰でも個性的な作品

とが、あれば、講師に気軽に質問してアドバイスを受けたら、みんなで相談しあったりして作業が進みます。

小型の織機を使い、コースターやマフラー、バッグなど、それぞれが作りたいものを織っていきます。分からないこととが、あれば、講師に気軽に質問してアドバイスを受けたら、みんなで相談しあったりして作業が進みます。



「この濃さならうまく染まるかしら」試行錯誤するの楽しい染色作業

さき織りに再利用すれば、リサイクルにも役立ちます。浴衣の生地や色落ちしたデニム、乾燥させたとうもろこしの葉など、今後の作品に使う素材を染め剤に浸し、色の生地に色落ちしたデニム、乾燥させたとうもろこしの葉など、今後の作品に使う素材を染め剤に浸し、色の

アカンサス木彫サークル



午前は主に初心者、午後は上級者を教える講師の須貝さん(右端)

の楽しさについて「材料の木や仕上げに塗る染料に全く同じというものはないので、世界に一つだけの作品が作れるのが魅力だと思います。逆にいつまでも勉強で、百パーセント満足したといえるものは、いまだに作れていないんですけどね」と笑顔で話してくれました。

「このサークルでは、デザイン画集から好きな作品を選んでホオノキの板に描き写してから彫刻刀で彫っていくので、初心者の方でも簡単に始められますよ」と講師の須貝英子さん。彫り終えた作品に色を塗り、オイルで仕上げる

作業中の部屋は、講師も一緒に会話が弾んで意外にもにぎやかな様子。木彫は根気のいる作業なので、週に一度のサークルに集まって、製作途中の作品を講師に見せてアドバイスを受けたら、気の合う仲間とおしゃべりしながら彫るのがいい気分転換になるよ



ただいま姿見の一部を製作中。色を塗り、組み立てたときの出来上がりを楽しみます

ペン習字 こぶし会

「会のモットーは『会員同士が仲良くしていれば、いつ

は、お茶とお菓子で一服しながら、仲間や講師と気軽に語らう姿がよく見られました。ここでは、会員歴二十年以

「ワープロやパソコンの普及で、以前、会員数が大きく減ったことがあります。でも、最近はまだ会員数が増え

アイデア料理サークル ライラック

このサークルでは、北海道の素材を生かすレシピや会員

ざると軟らかく仕上がることなど、一工夫のアドバイスがたくさんもらえます。調理が終わると全員で試食。